

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	対象小学校における学習環境が改善される。 【4月末日時点での達成度】現在、校舎、トイレの建設、給水設備の整備を行っており、現時点で達成されていない。
(2) 事業内容	(ア) ドンケオ小学校及びプーカン小学校の校舎建設、トイレ棟、給水タンクの設置及びプーカン村共同給水タンクの整備 【4月末日時点での内容】 事業開始後、ドンケオ村、プーカン村へ建設会社を交えた調印式、進捗確認を含め弊会職員によるモニタリングを5回実施。うち、着工確認等のため専門家によるモニタリングは2回実施した。適切に建設が始まっているか、資材の搬入や土台部分の確認等、建設の質を保つため専門家が厳しくチェックし、建設会社に助言した。 両校の現在までの進捗は、約2か月の遅れとなっている。まず、入札のためのプロセスにおいて、ルアンパバーンにある建設会社を訪問し、会社の選定を入念に行ったために、当初の計画よりも遅れて2013年1月に入札を実施するに至った。その遅延に伴い、着工開始が2月になった。また、現場の建設作業員が4月中旬からのラオス正月休みを、通常より約2週間長く取ったために、予定よりやや遅れているため、建設会社と建設スケジュールの見直しを行った。さらなる遅延を防止するため、各現場を管轄するエンジニアと郡教育事務所間との連絡を一層密に行い、そして、弊会から建設会社への進捗確認も毎週定期的に行うことを決定した。 (詳細は別紙へ) (イ) 教員・住民代表が学校運営を行うための活動 【4月末日時点での内容】本事業の全プロセスにかかわる住民組織として、教員と住民代表からなる「学校建設委員会」が設置された。この委員会により、学校建設の進捗の確認と住民への情報共有、木材調達のための森林局への申請書類準備と申請、また、土盛りといった住民が参加する建設作業が行われた。また、村との合意を交わした際、「学校配置図」が住民と教員によって作成された。 また、建設経過をドンケオとプーカンの両方の村、学校とで共有した。また双方の村において村長、校長、建設会社、そして郡教育事務所の行政官との関係構築と進捗確認を密に行うため、各学校の建設現場を視察し合うモニタリングツアーを実施した。教員や郡教育事務所の行政官は、他の学校の建設の様子を見ることで、より一層、各々の村の学校建設に関心と意欲を示していた。 (詳細は別紙へ) (ウ) 児童・教員・住民代表が学校施設の維持管理を行うための活動 【4月末日時点での内容】現在、学校施設の建設中であり、活動はまだ実施されていない。 (エ) 教育行政官が学校運営の助言を行うための活動 【4月末日時点での内容】建設会社を交えた調印式、弊会が実施するモニタリングには、常に県と郡の教育行政官が同行し、適宜、住

	民や教員に助言をしている。また、教員や住民は行政官に直接連絡することができ、必要に応じて行政官自ら建設現場に赴き、進捗を視察している。各学校間のモニタリングツアーの際、郡教育事務所の行政官から、村長、校長、そして建設会社に対し、改めて、それぞれが協力し合い質のよい学校建設が行われるようにとの助言があった。
(3) 達成された効果	(ア) 安全・快適な校舎の建設により、隣の児童と接触することなく、児童が授業に集中できる学習環境が提供され、教員にとっても教えやすい環境となる。また、トイレ・給水施設の設置により衛生面も改善される。 【4月末日時点の達成度】現在、校舎、トイレ、給水施設の建設途中であり、現時点では達成されていない。 (イ) 住民が、主体的に学校運営に参加している。 【4月末日までの達成度】現在、学校建設は進行中であり、現時点では達成されていない。今後、「学校運営活動スケジュール」が、教員、住民によって作成される。 (ウ) 本事業で整備された校舎等の学校施設が、児童・教員・住民代表によって維持管理され、きれいに保たれている。 【4月末日までの達成度】現在、「校舎等の学校施設」は建設途中であり、達成されていない。 (エ) 行政官が地方の小学校の問題点を理解し、助言をしている。 【4月末日までの達成度】モニタリングに郡教育事務所の行政官が参加し、ドンケオ小学校、プーカン小学校を訪れ、教員や住民と共に建設状況を確認している。また、建設会社に対しても、建設が滞りなく行われるよう、現場のエンジニアに問題があればすぐに連絡するよう指導を徹底している。行政官と住民との関係は構築されており、作業員の様子をよく見ているため、不安や不満があれば即座に行政官に連絡し確認し合うなど、行政官と教員、住民の関係は良好である。
(4) 今後の見通し	現在、建設の進捗はやや遅れていることから、建設会社とスケジュールの見直しを行い、日々の建設のスピードを上げると共に、毎週定期的に進捗確認を行うことで、さらなる遅延や問題発生にも迅速に対応できる体制を作っている。また、建設が始まって以降、当会はスケジュールや進捗状況に関して建設会社との連絡を密にしている。建設開始当初、両校において、土台や柱、壁等の構造をチェックしながら作業をする役割のエンジニアと作業員の人数が不足していたが、この点も当会と建設会社の話し合いにより、現在は両校とも、人数は倍近くに増やしており、建設の質を保ちながら遅れを取り戻す予定である。また、学校や村とも連絡を密に取りながら進めていく。今後、建設進捗50%、70%の時点で検査を行う。3教室のドンケオ小学校は6月末、6教室(5教室と職員室1室)のプーカン小学校は、7月末の建設完了を目指して事業を進める。